

〈NGO・外務省定期協議会 ODA 政策協議会 議題案／質問状記入シート〉

1. **議題案名**: 協議事項 NGO支援スキームによる政策環境改善分野への支援に関する提案
2. **議題の背景**: 国際協力NGO センター(JANIC)は、2017年度に外務省の「NGO研究会」の業務として、『日本のNGO による、アジア・アフリカ諸国における政府と現地NGO の対話プロセス構築支援の方法に関する研究調査』を行い、「総論:アジア・アフリカにおけるCSO の政策環境」と「各国の政策環境(市民社会スペース)調査」に関する報告書を発行した。本報告書では、総論で政策環境をめぐる国際的な状況や議論の動向を紹介した後、NGO法(LANGO)の制定・実施などに伴う政策環境の急速な悪化がみられるカンボジアをはじめ、アジア・アフリカのいくつかの国、そしてドナー国であるイギリスとカナダの事例を紹介した。政策環境の改善、あるいはより広く市民社会スペースの拡大のために、途上国や日本のNGOやCSOは何ができるのか、国際的なCSOネットワークとともに何ができるのか、あるいは日本のODA機関(おもに外務省・JICA)と一緒に考えていくことは何なのか、について検討し、「アクション・プラン」を提起した。

3. **議題に関わる問題点(議題に上げたい理由)**:

現在日本の外務省によるNGO支援は、NGO連携無償資金協力、NGO事業補助金、在外日本大使館が扱による草の根・人間の安全保障無償資金協力など多様なスキームがある。しかし、日本のNGO支援は、特に外務省の支援はハード案件が多く、人権・民主化支援などソフト案件への支援やネットワークNGOへの支援は避けられる傾向にある。しかも、DAC諸国のODAの16.9%がCSOを通じて途上国の現場に流れているが、日本は2.3%で、ODAに占める割合ではギリシャに次いで下から2番目である(OECD, Development Co-operation Report 2017.)。

JANICの報告書の「アクション・プラン」の中の一つの提案が、「NGO支援スキームの一部見直しと政策環境への対応」である。本提案は、世界の政策環境の悪化、市民社会のスペースが縮小する中で、いかに日本や途上国のNGO・CSOを支援していくのか、現在のNGO支援が予算管理と監査に集中しより硬直化していく中で、カナダ、北欧諸国、EUの様に政策環境の改善分野の支援など、いかに柔軟なNGO支援スキームを提案できるかという問題提起である。

例えば、カナダのCanada Fund for Local Initiatives (CFLI: 日本の草の根・人間の安全保障無償資金協力と類似のスキーム)の駐タイ大使館が扱うタイ・カンボジア・ラオスでの優先課題を紹介する(下記ボックス参照:カナダはカンボジア・ラオスには大使館を置かずに連絡事務所のみであり、バンコクの大使館が管轄している)。軍政下にあるタイ、本報告書で紹介したように人権抑圧とその一環としてLANGOなどCSO規制が進むカンボジア、一党制国家のラオスで共通して人権・民主化など当該国政府との関係では「微妙な」テーマがあがっている。

こうした他のDAC諸国の事例も参照しながら、NGO・外務省定期協議会のODA政策協議会において途上国のNGO・CSOの支援策、特に政策環境改善支援をふまえて、今日世界のNGOの政策環境の悪化と共に、新たな日本のNGO・CSO支援スキームのあり方を検討することが求められている。

ボックス: カナダの CFLI のカンボジア・ラオス・タイにおける優先課題 (2017-18 年)

カンボジア

1. 女性のエンパワーメントとジェンダー平等を促進する。
2. 人権、インクルーシブでアカウンタビリティをともなったガバナンス、民主主義、平和的多元主義、多様性の尊重に取り組む。
3. 平和と安全保障を促進する

ラオス

1. 人間開発（特に保健・栄養・教育）を促進する。
2. 人権、インクルーシブでアカウンタビリティをともなったガバナンス、民主主義、平和的多元主義、多様性の尊重に取り組む。
3. 水と気候変動を含む環境問題での行動を促進する。

タイ

1. 女性のエンパワーメントとジェンダー平等を促進する。
2. 人権、インクルーシブでアカウンタビリティをともなったガバナンス、民主主義、平和的多元主義、多様性の尊重に取り組む。
3. 水と気候変動を含む環境問題での行動を促進する。

(出典) <http://www.canadainternational.gc.ca/thailand-thailande/>

[development-developpement/CFLI-FCIL.aspx?lang=eng](http://www.canadainternational.gc.ca/thailand-thailande/development-developpement/CFLI-FCIL.aspx?lang=eng)

(以上、国際協力NGO センター(JANIC)(2018)『外務省2017 年度「NGO 研究会」業務(テーマ:「日のNGO による、アジア・アフリカ諸国における政府と現地NGO の対話プロセス構築支援の方法に関する研究」)報告書(別紙)』高柳彰夫「総論:アジア・アフリカにおけるCSO の政策環境」、重田康博、高柳彰夫「各国事例(1) カンボジア」2018年 より一部抜粋)。

4. **議題の論点(定期協議会の場で主張したいことや、外務省に聞きたいこと):**

日本の外務省として、カナダ、北欧諸国、EUの様に政策環境の改善分野のNGO支援スキームの導入の可能性について見解を聞かせて下さい。

議論の論点は、NGOへの支援スキームをBHN分野における能力構築支援などで政策対話能力の向上やネットワークNGO・CSOへの支援など政策環境にかかわる支援について検討できる場を設けることの是非である。今後の日本のODA機関のNGO・CSO支援スキームは、政策環境改善の分野へどのような支援が可能なのか、途上国や日本のNGO・CSOと日本政府の関係機関の政策対話・協議を通じて、より柔軟な政策環境改善分野への支援が模索されるべきである。

本議題では、NGOの政策環境改善とその支援スキームの可能性について、率直な議論を行い、NGOと外務省による政策対話の場を設けることを提案する。

- 氏名: 重田康博
- 役職: 政策アドバイザー
- 所属団体: 国際協力NGOセンター(JANIC)

以上